



「一人の生命は、地球より重い」

「一人の生命は、地球より重い」

この言葉を聞いたのは、1977年、私が15歳、中学3年生の時でした。この言葉を発したのは、時の内閣総理大臣 福田赳夫氏です。この事件の概要は、日本航空の飛行機が、乗客、乗務員を乗せて飛行中、ある集団にハイジャックされ、ハイジャック集団の仲間を解放するように政府に迫ったというものでした。首相は苦渋の決断から、服役中の仲間を釈放せざるを得なかった、という状況になりました。この模様は、一日中、テレビ放映され、国民が固唾を飲んで見守ってしまいました。私も、家に帰ってどのような結末になるのか心配で、食い入るようにテレビをみていました。最終的に福田首相は、「超法規的措置」という形で、ハイジャック犯の要求をのみ、服役者を釈放し、乗客、乗務員を無事、日本に帰国させました。詳しい内容を知りたい人は、ネットなどで検索すると、出てきますので、福田首相の判断を自分なりに考え、その結果について、熟考、判断してほしいと思います。

さて、明日から長い夏休みに入ります。「学校通信・しろやま 第2号」にも書きましたが、「ゆうこはごじ」、「誘惑に負けないこと」「細かいステップに分けること」「始めのハードルを低くすること」「ごほうびを大きくすること」「実現できると思うこと」の頭文字を取って「ゆうこはごじ」を大切に夏休みを過ごしてほしいと記しました。これは、あくまでも学習や日々の生活での目標の一つとして頑張してほしいことですが、このことより上位項目として「特別号」のテーマとして記した「一人の生命は、地球より重い」ということをしっかりと、頭と心で理解してほしいと思っています。

1学期、皆さん、楽しかったり、うれしかったり、はしゃいだりしたことがあったでしょう。一方、悩んだり、苦しんだり、我慢できなかつたりしたこともあったでしょう。私も人間ですから、楽しかったりうれしかったり、または、悩んだり、苦しんだりしたことはありました。しかし、自分なりの気持ちの持ち様、更には、周りの助け、それは、家族、友達、先生、SC等々、人によって、助けを受けた方は異なると思いますが、無事、本日、終業式を迎えることができました。私は、この4月、城山中学校に赴任して、1学期を無事終えられたことが最高にうれしいことです。明日からは、長い夏休みに入り、楽しい予定があるのかもしれませんが、また、3年生で入部している多くの人は引退前の部活動の大会で、最高のパフォーマンスを出し切る、そして、全学年、これまでの復習や勉強の追い込みで、辛いなあ、他にも様々な思いがわき上がり、ひょっとしたら気持ちが沈むことがあるかもしれません。それでも、開放感があり、ある程度、時間に縛られない生活を過ごすことができる夏休みは、リフレッシュにつながります。ただ、1学期、毎日、学校で出会っていた「友達」「先生」「SC」「スマイルRの先生」等とは、会える機会はめっきり減ると思います。そんなとき、つい、没頭しがち、信じ込みがちになるのは、SNS等です。書き込みを鵜呑みにしたり、信じ込んで、事件や事故に遭ったり、けんかをしたりすることが、私は、とても心配です。是非、正しいSNS等の使い方、心がけてください。

また、一人の時間が増えるとリラックスできる反面、「悪口や誹謗中傷、噂話」を眺めてはカッとなったり興奮したりして、自分の気持ちが悪い方へと変化してしまうこともあります。8月14日～18日は「学校閉庁日」で先生やSC等はいませんが、困ったことがあったら、配布されたプリントに書かれた連絡先や心の電話相談等に頼り、解決方法のアドバイスを受けてください。「学校閉庁日」と土日祝日以外は、毎日誰かが来ています。困り事、心配事、悩み事があったら、いつでも学校に相談に来るか電話をしてください。城山中、全ての教職員は親身に相談にのってくれます。

最後に、冒頭に書いた「一人の生命は、地球より重い」。そうなのです。皆さんの命は「地球より重い」のです。あなたの命は、あなただけのものではありません。父母、保護者、兄弟姉妹、祖父母、友達、先生……数えたら切りがないくらい、あなたのことを大事に、大切に思っています。この世に「命」を授かったことは、まさに奇跡と私は思っています。この瞬間、病気や事故で、生きたくても生きられない人がいるのが事実です。飢餓や戦争で苦しんでいる子どもたちがこの世界にはたくさんいます。ですから、自分の命を大切に、自分らしい花を咲かせながら日々の学校生活や行事等、マイペースで大いにenjoyしてください。そして2学期の始業式、元気なあなた、ちょっと憂鬱なあなた、そんな若い「すてき」な皆さん全員と会えることを心から期待しています。（校長：野口俊一）